

一行と宇佐郡深見郡の探訪調査を行ったが、其際一行の特に関心を持ったのは、両郡の文化財保存委員会の活躍であつた。おそらく県下に於て僅か一郡で文化財の保存顕彰の爲めに拾万六千円の予算を計上し、専任職員を置いて活躍して居るところは他に類例がないのではあるまいか。短期間に多くの成果をあげつつあるに驚くと共に、今後の活躍に期待する次第である。左に概況を記して読者各位の参考に資する事とする。

(廿九、九、三立川輝信記)

### 宇佐郡深見村文化財保護委員会

- 一、昭和二十九年四月五日郡会に於て文化財保護委員会条例制定
  - 二、役員 文化財保護委員、村会議員全員十六名 教育委員五名、村長、教育長、村助役 学識経験者五名 計廿八名  
委員 長 末松俊雄、元村長現教育委員長 副委員長 江藤季吉、栗林留吉  
専任書記 末松伝、兼任事務員 林四枝
  - 三、経費 昭和二十九年度分金拾万六千円
- 内訳 職員給料 四六、〇〇〇円  
事業費 五〇、〇〇〇円  
予備費 一〇、〇〇〇円  
計 一〇六、〇〇〇円

会員だより 会報

### 四、実施した事業の概要

- (一) 郡内に存在する文化財の研究調査
  - (二) 賀川先生を招待しての実地調査並に講話会座談会
  - (三) 神社、仏閣、古蹟、名勝地等に対し調査物縁起等の刊行
  - (四) 名勝並に古蹟跡垂並の土地買収保存 (昭和二十八年度)
  - (五) 郷土史編纂、資料蒐集中
  - (六) 考古学資料の発掘並に蒐集保存
  - (七) 民俗風習中、教化、教養上、価値あるもの、保存と奨励
- 例 盆踊を唯りレクレーション農村娯樂とせず、初盆会の儀式の後に行ふ供養の踊りとしてゐること
- (八) 通俗文学としての地方民謡の改良、創作等の実行、深見音頭懸賞募集
- (九) 其の他

### 會 報

一、本会の発会式 県下を一つにした地方史研究会の発足と機関誌の発行は、多年の要望であつたが、いよ／＼その機が熟し、去る六月廿日大分商工会館で発会式を行い、研究発表、規約審議、役員決定(別項参照)顧問、名誉会員の推薦特別講

演等を行い、空前の盛会を以て終了した。参会者約百名、当日の研究発表及び特別講演は次の通りである。

### 研究発表

- 一、日田中城河岸と竹田河岸 勝目 忍
- 二、庄園における職について 宇梶 秀雄
- 三、塚原百塚と女神崇拜 志手 環
- 四、岡藩の医学並に社会福祉事業 北村 清士
- 五、宇佐虚空藏寺遺跡の発掘について 賀川 光夫

### 特別講演

古奥に見えたる大分県の地名について 文学博士 清原 貞雄

当日推薦の名誉会員は左の諸氏である(いはば順敬称略)。

- 岩崎實(県会議長) 上田保(大分市長)
- 大分県社会教育課長 辛島詞士(医学博士)
- 高山英明(元大分市長) 花田大五郎(大分大学長)
- 古本春藏(弁護士) 細田徳壽(大分県知事) 松本義一(二豊学会長)
- 水原直光(大分県史学会長) 矢野孝吉(大分市文化財保存会々長)
- 二、常任委員会 第一回常任委員会を七月

六日大分市宮崎書店において開催、会誌編輯方針を決定、八月十六日第二回常任委員会を開き、創刊号の編輯及び印刷所の決定を行った。

三、次号以下の原稿募集

(1) 年四回発行のため、原稿を常に手持ちしてなければなりませんので、何時でも奮つて御投稿下さい。次号は十二月中に発行の予定で故、早目に御投稿下さい。四〇〇字、十五枚が原則ですが、時に若干の増加は已むを得ません。

(2) 論文は勿論ですが、資料紹介、歴史教育、質疑、郷土史話、会員だよりに肩のこらぬ短文を歓迎します。

(3) 費用の都合上、図版、写真版掲載御希望の方は、実費を負担願います。抜刷の場合も実費負担にて希望に応じます。

四、会員名簿 創刊号は頁数超過のため、次号に廻します。早急に整理を要しますので、多数の会員を御勧誘の上、会まで御連絡下さい。住所移転の場合も同様です。

五、会費納入について 会費未納の方は、緊急振替其他にて御払い込み下さい。年

二五〇円です。創刊号送附後払い込みなければ、次号以下は御送本を見合わせる事になります。

発会式の際立川委員から御報告申しました通り、少額の会費では運営困難であるのを、岩崎県会議長の幹旋による寄附金で補填し、漸く創刊号の発行を見た現状です。

六、郷土史関係新刊書 本誌新著紹介欄に紹介し、研究家相互に裨益する様に致し度く、是非共会員の方の著述は一部本会に御寄贈願いたく、又出版を御承知の方は会員外のものでも御周旋下さる様御願います。

七、秋季大会 費用の都合で開催せぬ事に致しました。

八、創刊号について 忌憚なき御意見を御聞かせ下さい。出来るだけ努力し皆様の御期待に添う様つとめたいと思えます。



編集後記

予想外に多数の原稿が集つた事や、編集者の不馴れ印刷所の都合等で、発刊が一ヶ月以上も後れた事を御詫びします。尙一部の方には折角の原稿を次号廻しとして頂かなくてはならぬ結果となつた事を遺憾に存じます。次号からは綿密な計画を立て、スムーズな運営をはかり度いと覚悟しています。それと共に御投稿を出来るだけ早くして頂く様重ねて御願います。燈火親しむべきの候書齋に実地に会員諸氏の一段の御活躍を期待します。(渡辺)

昭和廿九年十月廿三日 印刷  
昭和廿九年十月廿五日 発行

(本号に限り) 頒價百三十円

大分県地方史研究会  
編集兼 大分市 高井久雄  
発行人 代表者 渡邊澄夫

印刷所 三惠印刷株式会社  
大分市 上野

大分市 大分大学  
学芸学部 国史研究室内  
発行所 大分県地方史研究会  
(振替口座下関五二四九番)